

白内障とは

函館中央病院
眼科

酒井 正人
医員



白内障という病気の名前を耳にしたことがある人は多いと思いますが、実際にどのような病気なのかご存知でしょうか。目の中には外からの光を集めてピントを合わせる役割をしている水晶体という透明なレンズが入っています。この水晶体が白く茶色に濁ってしまい、見え方が悪くなってしまう病気が白内障です。白内障になると物が霞んで見える、太陽や車のライトなどが眩しく見える、暗い場所で見えにくくなるなどの症状が出現します。基本的には加齢に伴い出現する病気であり、早い人では50代頃から発症し80代ではほぼ100%の方が白内障であると

言われ、視力低下の主な原因の一つです。アトピー性皮膚炎や糖尿病など全身の病気やステロイドの内服が原因となることもあり、その場合はより若い年齢で発症する場合もあります。急激に進行する病気ではなく数カ月から数年かけて進行していきます。

治療としては進行を遅らせると言われている点眼薬もありますが、根本的に治すには手術が必要です。白内障の手術は手術方法や機器の進歩により、現在では2〜3mmという非常に小さなキズしかつけない手術が可能となっています。濁った水晶体を、超音波を出す器械で砕いて吸い取り、代わり

に人工のレンズを目の中に入れることで見え方を改善させます。手術の進歩で術後に炎症や乱視が強くなることも少なくなり、日帰りや1泊2日の入院で帰宅することも可能となったので、患者さん負担も少なくなったのではないかと思います。

人間は外界からの情報の8割を視覚から得ているとも言われており、見え方の悪化は生活の質の低下につながります。白内障であれば手術で改善させることも可能なので、「もう年だから仕方ない」と諦めずに一度お近くの眼科を受診してみてはいかがでしょうか。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代)
<http://www.chubyou.com/>

■診療科目／内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科
外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科
産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全24科目

■受付時間／8:30~11:30、13:30~16:00

※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。

■休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)

【略歴】

平成25年、札幌医科大学卒業後、王子総合病院、平成27年、北海道大学病院を経て、平成28年、函館中央病院眼科へ勤務、眼科医員に就任、現在に至る。専門分野は眼科一般。